

令和元年度「山形学」講座

みやびとあやびの山形

定員
80名
(先着順)

託児あり
(要事前申込)



会場

遊学館 第1研修室ほか
(山形市緑町1-2-36)

受講料

全5回 合計3,500円 (学生1,500円)
※現地学習の入館料・昼食代等は別途個人負担

●申込方法

【氏名・〒・住所・電話番号・託児の有無】を明記のうえ、はがき、FAX、メールで下記へお申込みください。後日郵送にて案内(振込用紙同封)を送付します。

●申込先

山形県生涯学習センター「山形学」講座係あて
〒990-0041 山形市緑町1-2-36
TEL:023-625-6411 FAX:023-625-6415
E-mail:yama@gakushubunka.jp

●申込期間

令和元年6月18日(火)～7月19日(金)

講座内容

第1回「みせる」
7月27日(土) 館内学習 (13:30～16:00)

第2回「えがく」
8月10日(土) 現地学習 (13:30～16:30)

第3回「まう・うつす」
9月8日(日) 現地学習 (9:00～17:00)

第4回「かなでる」
9月28日(土) 館内学習 (13:30～16:00)

第5回「こしらう」
10月12日(土) 館内学習 (13:30～16:20)

令和元年度「山形学」講座

みやびとあそびの山形

第1回

7/27(土)

13:30~16:00

開講式

館内学習

「みせる」

観る者がひととき現実を離れ、登場人物に自身を重ねて魅了される映画と演劇。山形国際ドキュメンタリー映画祭に携わる高橋卓也氏、子ども達への演劇指導に情熱を傾ける佐藤満徳氏に、上映上演にかかる意気込みや山形の地域性について伺います。

■講師

高橋卓也氏
(認定NPO法人山形国際ドキュメンタリー映画祭理事)
佐藤満徳氏(山形児童劇研究会会長)

■コーディネーター

本田香奈子氏(「山形学」企画委員)

第2回

8/10(土)

13:30~16:30

現地学習:村山

※現地集合・解散

「えがく」

世界的にみても優れた絵画、彫刻作品を所蔵する山形美術館を訪れ、山形の魅力を再認識したいと考えています。戦後の山形における美術館設立の経緯や意義、みどころなどを、岡部信幸副館長の解説を交えつつ楽しみましょう。

■見学

山形美術館
(企画展&コレクション・バックヤード見学)
入館料1,040円 別途負担予定

■講師

岡部信幸氏(山形美術館副館長)

■コーディネーター

松尾剛次氏(「山形学」企画委員)

第3回

9/8(日)

9:00~17:00

現地学習:庄内

※大型バス乗り合わせ

「まろ・うつす」

北前船により、酒田には上方の文化が伝わり、料亭文化なども栄えました。相馬楼では酒田舞娘の舞いなどの伝統的な料亭文化を、そして酒田市出身の写真家土門拳の全作品を収蔵する土門拳記念館では現代の文化を学びます。

■見学

土門拳記念館/相馬楼
入館料・昼食代等実費3,500円別途負担予定

■講師

工藤幸治氏(酒田市芸術文化協会会長)

■コーディネーター

小林好雄氏(「山形学」企画委員)

第4回

9/28(土)

13:30~16:00

館内学習

「かなでる」

全国的に高い評価を受け、スクールコンサートの貢献度も際立つ山形交響楽団。合唱と劇を融合させた新しい表現スタイルの新作を次々に発表する合唱団じゃがいも。2団体の魅力を山形の文化的背景や環境とともに考えてみます。

■講師

園部稔氏(公益社団法人山形交響楽協会理事長)
鈴木義孝氏(合唱団じゃがいも代表・
常任指揮者)

■コーディネーター

菊地和博氏(「山形学」企画委員)

第5回

10/12(土)

13:30~16:20

館内学習

閉講式

「こしらう」

陶芸と工芸をなりわいとするお二人をお招きして、「みやび」と「あそび」にまつわるお話を伺います。山形に継がれ生まれ直した伝統の魅力を、作品に込められた作家の表現や思いから読み解いていきましょう。

■講師

ブルーノ・ピーフル氏(陶芸家)
梅木直美氏(こけし工人)

■コーディネーター

加藤大鶴氏(「山形学」企画委員)

